

君とつばさ



令和8年3月20日
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1
 (電話) 03(3556)1789
 (HP) https://www.kotsujii.com

©交通遺児育英会

春の飛躍ませず心は

～東京・関西 心塾で卒業式

交通遺児育英会が運営する学生寮「心塾」を今春卒業する学生が卒業式を、東京寮(東京都日野市)で3月7日、関西寮では大阪市内のホテルで2月28日に行われた。写真(心塾東京寮)。石橋健一会長は、新社会人になる卒業生に向けて「それぞれの職場の改善につながる課題や糸口を見つけてほしい。新人ならではの新鮮な目で周囲を見て、社会に恩返ししてください」と祝辞を述べ、激励した。



交通遺児育英会が全国で展開している無料出張講演の開催が2014年度の開催以来、累計100回を突破した。

無料出張講演 開催100回突破

22年度導入のDVD講演が9割

広報活動を担う中核事業の一つに成長した。開催当初は交通事故被害者遺族が会場を訪れ、直接来場者に被害体験を訴えていたが、コロナ禍によって開催が中断。講演の再開を模索する中でDVDに体験談を収録するスタイルが採用された。開催地を選ばないDVD

返還の口座振替手続き、4月からネットで可能に

振替依頼書・払い込み用紙郵送も継続

奨学金の返還に際しての口座振替の申し込みが当会ホームページ上からインターネットで可能になる。4月1日から実施される。今春卒業される方への返還案内を掲載しています。併せてご参照ください。

口座振替は現在返還中の卒業生のうち約6割が利用している。これまでは電話やホームページから口座振替依頼書を請求

するが、ホームページ上で用紙を印刷し、必要事項を記入して当会へ郵送する必要があった。ただ、従来の方式では書類のやり取りに時間がかかる上、金融機関届け

出印の印象が不鮮明だったり、届け出印が誤って入るケースがあり、手続きは即日完了できず完了まで1か月半〜2か月程度かかっていた。このため、手続きの迅速化に向けてシステムの

改良を進めていた。インターネットを利用することで手続きは即日完了するため、返還課は積極的に利用を呼びかけている。希望に応じて口座振替依頼書、払い込み用紙の

郵送も従来通り続ける。交通遺児育英会人事顧問選任
 NHK会長の交代に伴う顧問の選任を行った。(2月17日付)
 ▼新任 山口明夫、井上樹彦
 ▼退任 新浪剛史、稲葉延雄

思考と判断、そして創造

卒業生に贈る言葉

交通遺児育英会会長
 石橋 健一



皆さん卒業おめでとう。世の中には皆さんに解決してほしい問題がたくさん待ち受けています。現場には長い事業推進の歴史の過程で蓄積された業務推進法、作業標準、手順があつて多くの先輩方がそれに従って整然と業務を遂行されているはず。皆さんも最初それに習熟することを求められ、その努力をすることになると思いますが、それに真剣に取り組み、それはそれで意義のあることです。

ただし、今の作業に改善、改革すべき問題、あるいは課題はないのかという視点を常に頭から離さないことが大事です。いかなる視点が大事なのかという点についてもう少し具体的に説明します。憲法は国家権力の行動を制限しますが、企業や法人においては定款がその行動を規定します。あなたが所属する組織に所属する以上、あなたはその組織の定款を頭に入れることによってその組織にとって正当な方向性を持つ改善、改革の視点を持つことができます。

「大仰な言い方だな」と考えられる向きもあるかもしれませんが、別に大仰ではなく、この姿勢は新人から仕事を辞める時まで、あるいは終生を通じて欠かせぬ視点と心得ておく方がよからうと思います。身近な例に話を戻しますと、職場においてはルーチンワークがそこそこにあるのです。皆さんの思考、判断、創造力が、その問題や疑問に対して一歩前に進んだ解決策を生み出すなら、それはあなたにとって組織にとつてどれだけ喜ばしいことかと思えます。そのような改善、改革が生み出されることを期待しています。頑張ってください。

最近読んだ本から素晴らしいお手本を紹介します。お一人は『戦争犯罪と闘う国際刑事裁判所は屈しない』(文春新書)の著者で、2024年に国際刑事裁判所(ICC)の所長に就任した赤根智子さんです。ロシアのウクライナ侵攻が始まったのち、ICCはロシアの戦争犯罪捜査を始めました。その中で、ウクライナから子どもを連れ去った戦争犯罪にプーチン大統領ら関与した合理的理由あり、としてプーチン氏らに逮捕状を出しています。これに反発したロシア側から、赤根さんを含むICCの裁判官らが指名手配されるに至っています。

もう一人は『ルワンダ中央銀行総裁日記 増補版』(中公新書)の著者、服部正也さん(故人)です。ルワンダはアフリカ大陸の中央部に位置する小さな国で、大きさは日本の四国の1.5倍程度。海からの距離は大西から約2000キロ。アフリカ諸国の中でも、発展から取り残された最も貧しい国の一つで、典型的な発展途上国でした。ドイツ、ベルギーの植民地支配を経て1962年に独立した国です。服部さんは日本銀行出身の国際金融家でIMF(国際通貨基金)から派遣され、1965年から6年間、ルワンダ中央銀行総裁を務めました。経済再生計画の立案・通貨制度の改革に努め、同国の経済発展の基盤を確立し、ルワンダ経済を回復させました。服部さんがいかにルワンダの人たちと対話し、ルワンダの人たちの目線で改革を実現していったか、先に挙げた著書でそのお仕事ぶりがつまびらかにされています。この2冊は、私たちにとても貴重なのですが、きっと皆さんにとつても一つの道標になると思います。ぜひ手に取ってみてください。



茶色く変色した文庫本を時折、読み返す。吉川英治著『三国志』全8巻。孔明、劉備ら英傑が繰り広げる活劇は大人になっても胸が躍る。思い起こせば、この本をきっかけに中国史・漢文、さらには世界史へと興味広がった。▼

大学生が1か月に使う書籍代が比較可能な1970年以降、初めて1000円を切ったそうだ。全大学生協連が昨秋実施した調査に大学生1万3277人が答えた。結果、自宅生は平均970円、下宿生が990円。ともに前年から500円前後下がったという。▼「何冊も読む子と全く読まない子に二極化している」とかつて高校の国語教師が嘆いていたが、調査によると近年は半数前後が読書量ゼロ。食費をはじめ、となくモノの値段が上がっている。アルバイトに追われて読書に充てる時間も本に費やすお金も削がざるを得ないのだろうか。▼あるいは、まとめサイトや「ネタバレ」サイトも数多ある中、1冊を読むに迫るのはコスパやタイパに劣るのかもしれない。聞けば、本を要約してくれるAI(人工知能)もあるらしい。だが表面的な筋書きをなぞって読んだつもりになるのは、それこそコスパにもタイパにも「？」が付く。書き手が物語に込めた想いは決して伝わらない。

5面

交通安全特別対談 尾野真千子さん

経験糧に成長続ける



【心塾東京寮で】

東京・卒業生ひとこと (敬称略)

川上 心菜

私が学生生活を通して学んだことは、人への感謝を忘れないことです。学校生活の中で、多くの方に支えられながら過ごすうちに、感謝と尊敬の気持ちを持って接することが、巡り巡って自分のもとに返ってくるのだと実感しました。これから社会に出て、壁にぶつかり立ち止まることもあると思いますが、人への感謝を胸に、一つ一つの経験を経験糧として成長していきたいです。

北村 望美

心塾東京寮は建て替えがあったため、私がこの寮で寮生たちと深く関わりを持つことができたのは、2年ほどしかありませんでしたが、その中でもたくさんのかけがえのない経験をすることができた

大田妃 奈乃

コロナ禍で始まった大田寮生活は不安も大きかったですが、寮生活を通して家族のように何でも話し合える友人に出会うことができ、入塾して本当によかったと感じています。薬剤師を目指す中で、日々の積み重ねがすぐに形にならなくても、着実に自分の成長につなが

藤井 莉子

私は現在の大学に編入すると同時に心塾に入塾しました。臨機応変に対応していただき、心よりの感謝しています。新しい友人にも恵まれ、帰宅後に食事が提供される環境のおかげで、寮生活も安定して過ごすことができました。学習スペースも整っており、課題や試験期間には集中して取り組み、成績にもつながりました。今年9月に卒業予定で就職活動中ですが、支えとなった方々のように人の役に立つ仕事に就きたいと考えています。

井上 燐稀

入寮したばかりの頃は、慣れない共同生活に不安もありましたが、仲間と過ごす中で、思いやりや協力することの大切さを実感しました。学校生活では、時間を意識して行動する習慣も身につきました。これからは、寮生活で得た自立心を生かし、自分の目標に向かって努力を続け、さらに成長していきたいと思っています。

庄司 愛葉

心塾での生活は、一瞬たりとも寂しさを感じることはない充実した時間でした。一緒にご飯を食べる映画を見て、ボードゲームをして、当たり前のように「たのしい」と言い合える存在は、やはり普段の友人とは違い、「唯一無二だな」と感じます。心から信頼できる同期との別れはともつらいですが、落ち着いたら温泉旅行でも行って、近況報告しましょう！それまで大学院での研究に専念したいです。

橋野 義明

大学生活を振り返ると、非常に充実した時間を過ごすことができたと感じています。中でも、「高校奨学生と保護者のつどい」では、貴重な経験をさせていただきました。多くの方々の前で自分の経験を話し、少しでも皆さまの力になればという思いで臨みました。

出張講演を聴いて

交通事故を起こさない、起こさない社会にしていけるよう、日々業務に務めたいと思います。

交通遺児の方々が頑張れる、希望を持つ社会をつくるお手伝いをしたいと思いました。

報道ではなかなか知ることができない被害者ご遺族の現実を、私たちが多くのドライバーに知ってもらえるよう伝えたいと思いました。

「ハンドルの重みは命の重み」という言葉を心に留め、運転者の育成に努めていきます。

自身の経験を伝えることで、交通事故の悲惨な現状を、多くの方に認識していただいていることと思います。「あしながおじさん」の存在を初めて知りました。

今後こうした支援活動が続き、つらい思いをされる方が少しでも減ってほしいと思います。

交通遺児の皆さんがやりたいことを諦めず暮らしていける環境づくりが広がればいいと感じました。

普段、当たり前に行っていることでも「絶対大丈夫」「絶対」はないということを改めて感じました。

(講演を聴いた時点の)気持ちを忘れることがないように、今の自分ができることをしていこうと思う。

これからの教習、検定業務において(高知県警運転免許センター様のアンケートより)

勇気を出して自らの経験を語り、たぐ遺族の声を真摯に受け止め、自分ができることは何かを考え、行動することの大切さを強く感じている。

講演の申し込みを受け付けています

交通遺児育英会ではDVD等による全国無料出張講演の申し込みを受け付けています。申し込み、内容に関する詳細は当会ホームページ(https://www.kotsuiji.com/)または電話(03・35566・1789)にてお問い合わせください。

卒業生の皆さん

返還は10月からです 書類提出をお願いします

卒業生の皆さん、おめでとうございます。ご家族が突然の不幸に見舞われ、その逆境のなかで奨学生として勉学に励まれたことに敬意を表します。卒業した際や、その後も必要な手続きがございます。ご承知おきください。

★卒業した際の手続き
奨学金が終了した卒業生には、3月中旬に「最終的な貸与金額を通知」するとともに、「返還手続きのご案内」をお送りします。自らの奨学金は「返還猶予願」を必ず提出してください。返還の期日や方法に関する重要な書類です。必ず記入、返送をお願いします。また、返還方法は口座引き落としが原則です。同封の口座振替依頼書を返送するか、4月以降、当会ホームページから手続きをお願いします。

★返還猶予
進学に伴い猶予を希望する場合は、返還期間中は、引越しや結婚などさまざまな転機が訪れることとあります。こうした場合は、必ず「変更届」を提出してください。主な変更届は次の通りです。

★各種変更届
▽連帯保証人の変更
不明な点は当会までご連絡ください。

▽返還金の引き落とし口座の変更、振り込みから口座引き落としへの変更
▽返還方法の変更(金額や一括繰上げ返還など)

卒業した際の手続き関係
返還に関する問い合わせ

奨学課 0120-521286
返還課 0120-521287

返還方法は、3月中旬に「案内」をお送りします。返還の期日や方法に関する重要な書類です。必ず記入、返送をお願いします。また、返還方法は口座引き落としが原則です。同封の口座振替依頼書を返送するか、4月以降、当会ホームページから手続きをお願いします。

返還期間中は、引越しや結婚などさまざまな転機が訪れることとあります。こうした場合は、必ず「変更届」を提出してください。主な変更届は次の通りです。

▽連帯保証人の変更
不明な点は当会までご連絡ください。

▽返還金の引き落とし口座の変更、振り込みから口座引き落としへの変更
▽返還方法の変更(金額や一括繰上げ返還など)

関西・卒業生ひとこと (敬称略)

梶 乃綾

看護学校での生活は実習の厳しさに悩み、涙を流すこともありました。手を抜くことなく最後までやり切ることができました。また、地域看護学専攻科への進学に向けた受験では、不安を抱えながらも挑戦する気持ちを忘れず取り組んだ結果、合格することができました。卒業後も挑戦する姿勢を大切に、自分らしく成長していきたいです。

海野 音芽

京都での学生生活は新しいことばかりです。元々は感覚を養い、良い作品を描くために意識して外出していました。ですが、そこでもさまざまな場所や人と出会って、またその中で楽しいことや大変なことがあり、全部の物語が流れてつなげていき、今の自分の経験や楽しい勉強になりました。これからますます

寺本 隆志

寮生活で一人暮らしをする中で、一人の時間が増え、自分と向き合う時間も増えました。私がやりたいこと、頑張りたいこと、時には怠けた気持ち、放り出した気持ちなど、幾度も向き合う時間ができたことで、私自身、私という人間に対する理解を深める機会になりました。また、一人の時間が増えることで、誰かという

西澤 穂乃果

4年間の寮生活を振り返ると、新しい環境、大層、勉強、人間関係などで目まぐるしく日々が過ぎていったように思っています。この4年間に会った人々、毎日のご飯など私自身の生活を守ってくれる環境に支えられてばかりでした。

久保 亜由美

寮生活を振り返ると、勉強やアルバイトで忙しい日々の中、食事が用意されていたことが何より心強かったです。初めての一人暮らしでしたが、寮長さんをはじめ多くの方に支えられ、授業にも前向きに取り組むことができました。支えてくれる環境への感謝を忘れず、今後社会人として精いっぱい頑張っていきたいと思えます。

西村 澤

4年間の寮生活を通して行動力が身についたと思います。地元の北海道とは異なり、電車に乗ればすぐに隣の県に行ける環境が新鮮で、自分で計画を立てて遠くに出かける機会が増えました。学内でも、さまざまな出身地の友人たちと交流することができて楽しかったです。一方で、寮内やアルバイト先では同じ出身地の人と話が盛り上がることもあり、自分が過ごしてきた時間がより尊いものに感じ、これからも人の縁を大切にしていきたいと思えます。

田邊 利空

この4年間、長いようでとても短かったように感じます。勉強や日々の実習は、とてもしんどかったですが、自分にこんなことができるのか、と何ども夢を諦めようとしたこともありました。ですが、なんとかここまでたどり着けたのは、周りの友達や家族のサポートがあったからだと思います。一度は落ちてしまった卒業試験も再試験で合格することができました。理学療法士の国家試験には、今まで勉強してきたことをぶつけられるように最後まで頑張りたいと思います。

杉山 絢南佳

私の強みは自分で目標を立て、その目標に向かって最後まで努力し続けられることです。1年生の時、初めて出場した美容技術のコンテストに選んだ時、初めて「私にできるかもしれない」と心から思えました。その瞬間が自分を信じる第一歩になりました。続いて全国大会出場という大きな目標を掲げ、学校では早朝から12時間の練習、帰寮して家事と勉強の毎日。校内選考、地区大会と何度も心が折れそうになりながら自分を奮い立たせましたが、結果は敢闘賞。悔しくて涙が止まりませんでした。その時、私を支えてくれたのは友人や家族でした。私の挑戦は一人の力ではなかったと気づき、

挑戦する姿勢 大切に



【大阪市内で】

初めての一人暮らしで最初は悩むこともたくさんありましたが、今思えばとても充実した2年間を過ごすことが出来ました。4月からは社会人として、ずっと夢だった美容師になりました。新しい環境に慣れるまで大変なこともたくさんあると思いますが、自分が思い描く美容師になれるように、日々努力を重ねて頑張っていきたいと思えます。

初めて一人暮らしで、これまで支えられてきた立場から、多くの人を支えられる立場になれるよう前に進んでいきたいと思えます。本当にありがとうごさいます。4月からは社会人として、これまで支えられてきた立場から、多くの人を支えられる立場になれるよう前に進んでいきたいと思えます。本当にありがとうごさいます。

私には18歳から23歳まで5年間、心算にお世話になりました。この5年間を振り返ると、私にとっても貴重で有意義な時間でした。特に私は建築を学ぶ中で、どのように社会と接していくか、誰かの人生を背負い、生活を豊かにする場をつくる人として何が出来るのかを考え続けてきました。

大学生になって地元を離れたことで、新たな経験や視点をたくさん得られたと感じています。いろいろな場所から集まった人々と交流することで、それまで自分の知らなかったことを知ることができたのは、「地元から遠く離れた大学を選んで良かったな」と思うことです。寮生活では、食事つきで安心安全な生活を送ることができ、アルバイトで勉強が疎かになることでもありませんでした。このありがた環境で生活できたことを糧に、新社会人としての生活も頑張っていきたいと思えます。

私の強みは自分で目標を立て、その目標に向かって最後まで努力し続けられることです。1年生の時、初めて出場した美容技術のコンテストに選んだ時、初めて「私にできるかもしれない」と心から思えました。その瞬間が自分を信じる第一歩になりました。続いて全国大会出場という大きな目標を掲げ、学校では早朝から12時間の練習、帰寮して家事と勉強の毎日。校内選考、地区大会と何度も心が折れそうになりながら自分を奮い立たせましたが、結果は敢闘賞。悔しくて涙が止まりませんでした。その時、私を支えてくれたのは友人や家族でした。私の挑戦は一人の力ではなかったと気づき、

荒地の家族

佐藤 厚志

「底が抜けたように大地が上下左右に轟音を立てて動き、海が膨張して景色が一変した」大震災から10年、津波にのまれた宮城県亘理町で造園業を営む坂井祐治には、いまも死がまとわりつく。妻が幼い啓太を残してがんで先立ち、再婚した妻は死産を経て家を出た。疎遠だった遊び仲間、明夫も病んで荒れ、「報い」と言い残して命を絶った。母、啓太と暮らす。道路や橋の復興とは裏腹に、祐治には「走っても走っても一向に進まず、同じ地点にとどまっている」思いが強い。「報い」は、生き残った者の後ろめたさなのか。造園修行のころ、先輩らから痛めつけられた肉体が頼りになる。「もっと追い込め。もっと大きく、強い

もう読んだ？

今泉 哲雄 心塾関西寮読書感想文講師

川洋子さんは、あの災害を『文学として我々の記憶に残してくれた』と評した。

心から感謝しました。同時に目標は自分を大きく成長させること、チャンスは待つものではなく、つかみにいくものだと思えました。これからは努力と感謝を忘れず、夢に向かって挑戦し続けます。

力をつける。嫌気の中にパーセントだけ、自分が研ぎ澄まされていく充実感を味わう。99%は、いつも「うまくいきそうなのに足元からひっくり返される」空しさ。どこまでもやりきれない物語に、微かな温もりが微かにこぼれる。けがで息子が病院に。駆けつけた父が、無事な姿を見てほっと伏せた頭に温もりが……小6の啓太が手を置いてくれた。父子の仲は、このところぎゅぎゅしくしている。帰宅した父の頭を指さし、息子がげげら笑い出した。父は、髪も眉もみあげも無精ひげも真っ白になった自身を鏡に見た。息子の手、父の白髪。いまそこにある日常の、生きる「点景こそ復興なのか。芥川賞受賞作。選者の小川洋子さんは、あの災害を『文学として我々の記憶に残してくれた』と評した。

被災家族に温もりかすか

盛り返まっていた。警察庁は自転車安全利用5則【①車道原則・左側通行、歩道は例外・歩行者優先②交差点では安全確認③夜間はライト点灯④飲酒運転厳禁⑤ヘルメット着用(努力義務)】の遵守を呼びかける一方、ホームページ上に自転車ポータルサイトを開設、新しい「自転車ルールブック」を公開している。

自転車「青切符」4月1日から 16歳以上「ながらスマホ」など

4月1日から自転車に「青切符」が適用される。違反があった場合、16歳以上を対象に反則金(3000~1万2000円)が科される。社会問題化している、いわゆる「ながらスマホ」では、法に反則金制度の導入が

新潮文庫 572円



(公財) 交通遺児育英会
石橋 健一 会長

いしばし・けんいち 1942年生まれ。北大卒業後、日新製鋼(現日本製鉄)入社。96年、交通遺児育英会。専務理事、理事長等を経て23年より現職。

NHK連続テレビ小説「カーネーション」の主人公・小原糸子役をはじめ、映画「茜色に焼かれる」では交通事故で夫を失ったシングルマザーを熱演した尾野真千子さん。俳優業の傍ら、生活拠点を置く沖縄では居酒屋の女将として店を切り盛りする多忙な毎日を送っています。地元の「一日警察署長」を務めるなど、地域の防犯活動に一役買ったこともある尾野さんが、石橋会長と修学支援の在り方や交通安全をめぐる現状について語り合いました。



俳優
尾野真千子 さん

おの・まちこ 1981年、奈良県生まれ。97年、映画「萌の朱雀」(河瀬直美監督)で主演デビュー。映画・ドラマ・CMなど多数出演。沖縄県今帰仁村在住。

特別対談

初心忘れず伝えたい 「安全運転」「命の重み」

ハンドルの重みは命の重み

「交通安全」を思い出しつてもらえる人でありたい

1トの鉄塊を動かす恐ろしさを忘れないように

尾野 交通遺児育英会は、どのような経緯で設立された団体ですか。

石橋 日本の高度成長期、交通事故死が年間1万6000人を超えていた頃、経済的な事情で進学が困難になった子の支援を求める声が全国に広がり、1969(昭和44)年に当会は設立されました。以来、5万8千人余の奨学生に約584億円超を支援しています。近年はいわゆる「ヤ

万田を上限に補助しています。高校生に海外語学研修の機会を提供したり、東京と関西には学生寮を設けるなど支援を拡大してきました。また、年1回開く「高校奨学生と保護者のつどい」や保護者の交流を目的に地域ごとに関く「語りカフェ」、被害当事者に体験を語っていただく無料出張講演も実施しています。

尾野 本場にさまざまな事業をされているんですね。す

し、私たちの組織ができません。その声があれば、ここまでの支援体制はできなかったと思います。今後は奨学生が社会に出た後(奨学金の)返還負担を軽減することにも注力したいと思っています。

尾野 本場にすぎないことではこうした支援体制があることを知りませんでした。(交通遺児育英会の)情報が広く届いていないんでしょうか。

石橋 おっしゃる通りです。尾野 普段の暮らしの中で、こうした支援の取り組みにはなかなか目が向かないことが多いようにも思います。差し当たっては必要ないことと受け止められてしまいがちだからでしょう。いざという時に備えて「こんな支援がある」という情報が皆に届くよう、工夫が必要だと思います。

石橋 私たちも少しづつ支援を拡大してきました。そう

病院にも行けない。生活が成り立たない。「高齢者は運転免許の返納を」という意見が普通なのかもしれないが、やっぱり不自由なんです。

石橋 鹿児島島の講演会でも同様の話を聞いたことがありますが、公共交通機関が必ずしも十分ではありませんし。尾野 そうなんです。実家は奈良の山あいですが、同じ不自由さがあります。被害を受けた側の「運転しないで」

ているはずなのに、「何が足りないんだろう」と思うばかりで。やはり、ちょっとした気の緩みでしょうか。

石橋 思うに、気の緩みとは「慣れ」です。1000回通った道でも101回目でも事故に遭うかもしれない。私は初めて車を動かした時の、1トもある鉄の塊が足を少し動かしただけでスッと動く恐ろしさ。その時の気持ちを忘れないようにしています。



「大切な命が失われないう一人一人が気をつけるしかない」と尾野さん

尾野 私が交通安全を発信しても、その時は耳を傾けてくれませんが、いずれ忘れてしまう。人間とは普通、そういうものではない。でもテレビでも映画でも私の顔を見たら「交通安全」を思い出しつてもらえるような、私はそんな人でありたいと思います。もちろん、私自身も交通事故の当事者にならないよう、誰かの命が失われることのないよう気をつけたいです。

ンケアラー」に該当する奨学生に何らかの支援ができないか、調査検討しています。尾野 具体的に、どんな活動をされているのですか。

石橋 核になるのは高校、大学(院)、専門学校などへの進学に伴う奨学金の無利子貸与(一部給付)事業です。さらに家賃や運転免許の取得費の補助、語学検定や各種資格・検定試験の受験費用を給付したり、入試の受験料も10

ご充実した支援体制だと思います。海外でホームステイまでさせてもらえるのは、なかなか出来ないことですね。寄付をしてくださる、あしながおじさん、がいらして、そしてこうした支援策が整っている。(奨学生にとって)ものすごく幸せなことと感じました。

石橋 交通事故で動き手を亡くしたお母さん方が声を上げ続けてきたことが国を動か

石橋 保護者から「上の子の時はこんな支援が受けられることを知らなかった」と言われることがあり「これじゃいけない」と、改めて広報活動の重要性に気づき、4年前に広報課を設けました。

石橋 初心を忘れずと運転が荒くなる。「ハンドルの重みは命の重み」という、あるお母さんの言葉とともに、いつも初心を思い出せるようにしたいですね。

